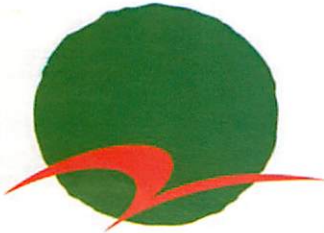


さわやか広場

～みんなあつまれ～



〒036-0233 青森県平川市日沼樋田85番地

TEL 0172-43-5432 FAX 0172-43-5433

http://www.sawayakaen.net/ E-mail:sawayakaen@viola.ocn.ne.jp

社会福祉法人 直心会 理事長 花田 昭子

特別養護老人ホーム さわやか園 園長 池内 善次郎

サービスセンター さわやか園

在宅介護支援センター さわやか園



今、政治の世界では、社会保障・税一体改革を行うという名目の下で、消費税の見直しが叫ばれています。

現実にはこれから消費税の増税によらなければ、今までのツケで国の制度崩壊を招くことは確かでしょう。それは分かります。

しかし、その前に行政の徹底した無駄を省き行革の推進を峻烈に行うという、重大なことを忘れていませんか。いつの間にか行革が忘れられたように表面から遠ざかり消費税だけが一人歩きの感じがします。そして、その陰で社会保障費の抑制が進められています。

その様なとき、三年毎に見直しをする介護報酬改定が決まった。改定率1.2%（在宅分1.0%、施設分0.2%）の増加である。単純に見ると介護報酬の増額のように見えるが、中身になると甚だ疑わしい。

先日、東奥日報に次のような記事が出ていた。読んだ方もいると思いますが、ホームヘルパーが高齢者の自宅を訪問して料理や洗濯などをする「生活援助」利用時間の基準が短縮されることに、ヘルパーから疑問がでており「今でも時間足りないのに、必要な援助が出来なくなる。撤回してほしい」と訴える現場の声を取り上げていた。

これは生活援助の時間区分を現在の「30分以上60分未満」と「60分以上」を「20分以上45分未満」と「45分以上」に時間短縮した事が原因だ。

「これから介護保険制度はどうなるのか」 特別養護老人ホームさわやか園 園長 池内 善次郎



このしわ寄せは、ヘルパーを利用して高齢者にかかり、家族の介護負担も増える。介護保険の目的である高齢者の自立も難しくなる。それで本当にいいのですかと結んでいた。

また「公益社団法人全国老人福祉施設協議会」が発行した介護報酬改定緊急ニュースを読みました。その中で、厚労省の担当課長が、「今、改正する介護保険の制度は、厚労省の方針であり、社会保障・税一体改革においても施設・住まい、居宅のサービスを進めるということだ」と述べている様子が説明されていました。

厚労省の方針ということが気になったのは、厚労省が決めたことは誰がなんといおうと貫き通すということに聞こえる。それだと官僚主導ということではありませんか。社会保障費の抑制のためには、机の上で物事を判断し、現場の実情、声を顧みない、国民にとっては、社会保障とは何なのか限りなく疑問を覚えるものでしょう。

福島原発事故の際には担当の専門家集団である原子力安全・保安院の適切な判断が無く、まるで官僚主導が無力であったと先日TV放送で拝見したばかりであります。

これから団塊の世代の高齢化を迎え、増大する要介護者への対策は何十年も前から分かってきたのに、はっきりとした方針・基準が国民に示されず、現在に至っているのが実情であります。

餅つき

1月6日に、さわやか園の餅つきがありました。

まず初めに、園長の挨拶から幕をあげ、次に職員による相撲大会が行われました。

職員みんな、真剣な顔で相撲に取り組んでいて、見ている利用者も応援して拍手喝采で、大変盛り上がりしました。



相撲が終わると今度は待ちに待った『餅つき』です。男性職員が精いっぱい杵を持ち上げ、餅をつき勢い余って天井にお餅がくっつく場面もありました。

ついたお餅をお汁粉にして、みんなおいしそうに食べていました。

(特養介護副主任

石澤 由夏)



豆まき

2月3日、地域交流スペースにて豆まき大会が行われました。

まず初めに園長より挨拶があり、それが終わると、司会の声と共に鬼が登場。鬼の登場と同時に利用者は持っていた豆を思いっきりぶつけていました。利用者のぶつけた豆が痛かったのか鬼は逃げていきました。これで、今年一年健康で長生きできると利用者の皆さんはホッとしていました。



豆まきの日の昼食は、えほう巻きが出され、利用者の皆さんは願いの事をかけながら、終始無言で食べていました。

(特養介護職員

原子 聡美)



インフルエンザについて

インフルエンザの特徴としては流行性の疾患で例年11月頃～4月頃までの冬から早春にかけて流行する飛沫感染で、くしゃみや会話で飛散した飛沫粒子によって感染します。感染力が強く流行時には短期間に全年齢層を巻き込み膨大な数の患者が発生します。

今年、県内全域にインフルエンザ警報が出されました。2月後半には八戸市の特別養護老人ホームで41名の集団感染があり、80代の女性が死亡したとの発表もありました。その他20名程もインフルエンザで入院したとの事です。ただ死亡した女性のインフルエンザとの因果関係は不明との事ですが、他に五所川原保健所管内でも、70代の女性がインフルエンザで死亡したとの事です。

インフルエンザは発症(発熱)の約1日前から感染性があり、発症から24時間間もつとも感染性が高く潜伏期間が短い(短くて1日、長くて7日)との事です。又、症状がなくても感染の恐れがあります。自分でできる対応としては、外出先から帰ったら「うがい・手洗い」を励行し、おかしいなと思ったらマスクをし外出など控えるように気を付けたいものです。

(特養介護職員 小山内 照代)




- ① 職種
- ② 氏名
- ③ 趣味・特技
- ④ チャームポイント
- ⑤ 自己PR
- ⑥ 最後に一言

新人職員紹介

どうぞ宜しく
お願いします♪

WELCOME




- ① 介護職員
- ② 田中 星香 (たなか せいか)
- ③ DVD観賞、ソフトテニス
- ④ おおらかで明るい性格
- ⑤ 学生時代、運動部だったので体力には自信があります！
- ⑥ これから一生懸命頑張るので、よろしくお願いします。



- ① 介護職員
- ② 相馬 富久子 (そうま ふくこ)
- ③ バドミントン
- ④ 笑顔
- ⑤ 何事にも一生懸命取り組む事ができ体力には自信があります！
- ⑥ 一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。





- ① 宿直管理員
- ② 工藤 修三 (くどう しゅうぞう)
- ③ 読書、旅行、スポーツ
- ④ ハゲ頭ですよ！
- ⑤ 最近めっきりと体力が衰えてきているので、若い職員のエネルギーをもらって明るく元気で頑張ります。
- ⑥ 職員皆様のご指導を賜り誠心誠意勤めます





- ① 介護職員
- ② 小笠原 美穂 (おがさわら みほ)
- ③ 体を動かすこと、お菓子作り、ソフトボール
野球・ソフトのスコアをつけられます
- ④ 手
- ⑤ 何事にも一生懸命取り組みます
- ⑥ 一日も早く仕事に慣れるように頑張りますので、よろしくお願いします。



- ① 介護職員
- ② 北山 宏平 (きたやま こうへい)
- ③ ダーツ、テニス
- ④ 声の大きさ
- ⑤ ねふた・よされが大好きです！
- ⑥ 笑顔で頑張ります！

デイサービス創作活動

デイサービスでは毎月一週間、創作活動の時間を設け、簡単なモノ作りを行っています。

2月はひな祭りに向けて、折紙で壁に飾るひな飾りを作成しました。

最初は見本を見て難しそうだと、あまりやる気ではなかった利用者の方々も、出来る所を分担したり、それぞれ声を掛け合いお話しされながら取り組まれていました。

その他、お雛様・お内裏様の顔を描いて頂いたり、まわりに花の形に切った折り紙を貼る事でいろいろなひな飾りが完成しました。完成したひな飾りをそれぞれ見せ合い出来上がりを喜ばれていた様子でした。



そして、ひな飾り作りと並行して壁紙作成も行いました。梅の木にたくさんのお花が咲きウグイスがとまっているという、とても趣深い壁紙が出来上がりました。

梅の花びら一枚一枚が指の形をしており、これは利用者の方が指にインクを付けて花の形にスタンプしたものです。

皆さんとても熱心に取り組まれ出来上がった時はとても喜ばれていました。

(デイ看護師 長尾 優子)

介護保険改定について

平成24年度の介護報酬改定では、高齢者の尊厳保持と自立支援という介護保険の基本理念を推進するために各サービスの報酬・基準が見直されました。

その一つは、地域包括ケアシステムの基盤強化、二つ目は、医療と介護の役割分担・連携強化、三つ目は、認知症にふさわしいサービスの提供です。高齢者が住み慣れた地域で要介護度が高くなっても、医療ニーズが高くなっても生活できるサービスを提供していくために報酬が算定されています。

(一) 地域包括ケアシステムの基盤強化

高齢者が住み慣れた地域で生活し続けることを可能にするため・・・

- ① 高齢者の自立支援に重点を置いた在宅・居宅系サービス
- ② 要介護度が高い高齢者や医療ニーズの高い高齢者に対応した在宅・居宅系サービスを提供

(二) 医療と介護の役割分担・連携強化

医療ニーズの高い高齢者に対し、医療・介護を切れ目なく提供するため・・・

- ① 在宅生活時の医療機能の強化に向けた、新サービスの創設及び訪問看護、リハビリテーションの充実並びに看取りへの対応強化
- ② 介護保険施設における医療ニーズへの対応
- ③ 入退院時における医療機関と介護サービス事業者との連携促進



(三) 認知症にふさわしいサービスの提供

認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で生活を続けていくため・・・

- 小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設において必要な見直しを行う



(特養相談員 石山 幸乃)

